



編集後記

●25 生

飛翔第 85 号・86 号の編集長を務めさせていただきます、小林です。今号は、先輩方が引退され、25 のみでの編集となりました。うまくリーダーシップが発揮できず、多くの方に迷惑をかけてしまうこともありましたが、そのたびに手を差し伸べてくれた飛翔編集委員の友人たちには感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

どうしたら手に取ってくださった方にとって楽しく、そして価値のある「飛翔」になるか皆で考えて作った力作です。多くの方に楽しんでもらえたら幸いです。

小林 美月

今回の飛翔は 25 のみでの編集ということでわからないことだらけでの作業になりました。しかしその分様々な面で学ぶことも多く、OB の方への取材に関しては東京まで行ったり、副編集長としてみんなの仕事を支えたりと、非常に良い経験をさせてもらうことができました。

私たちがやりたいことを取り上げ、記事にし、編集した飛翔が、より多くの人に読んでもらえるとうれしいと思います。

上江洲 まどか

今私は広島空港で中国行きの飛行機を待っています。14 時半に飛ぶ予定の飛行機は早くても 17 時にしか飛ばないらしい(泣)

今回の飛翔を読んで編集員の仕事にちょっとでも興味を持ってくれた方、ぜひ飛翔に来て下さい！大丈夫、1 年生は忙しくないです。2 年も、留学とサークルと小論文と同時にこなせる程度の仕事量です(笑)

それでは、飛翔編集室で会いましょう！

渡邊 恭平

将来という言葉が、もう既に遠い未来の話ではなく、割りと差し迫った問題なんだなとこの頃は思います。高校の時から記者の仕事に興味をもち、ものを書くのも好きで、しかし今まで飛翔の仕事をやってきたのはなんとなくでした。今回も、最初は大いに意気込んでいたけれども切は遅れるし、そういう初歩的な部分で反省ばかりです。次回の飛翔はもっと編集員で密に協議して、魅力ある広報誌にしたい。

総科の同級生はそれぞれ特技を持っています。私はどこが秀でているかな？とよく考えます。皆がまぶしくて自信は持てません。でも文章を書くことは相変わらず楽しいので、とりあえずこれを信じてやってみようかなと思います。

新垣 さくら

今回飛翔を作って、前回とはまた違った達成感がありました。今回は企画を考えることから自分たちでした。とても大変だったけれど、前回よりも楽しかったです。でも、きちんと締め切りを守れなかったのもっと早くから行動しておけばよかったです。今回私は自然探究領域の研究室紹介と巻頭言を担当しました。インタビューは面白かったし、学部長の吉田先生の写真を撮りに行ったのもいい思い出です。

文章を書くのは難しかったですが、頑張ったので少しでも多くの方が手に取って読んでくれればいいなと思います。

大塚 侑奈

後期飛翔は散々でした。いろいろなところで皆に迷惑をかけてしまいました。なかでも、インタビューの録音に失敗した時はもうダメだと思いました。拙いメモを頼りに、曖昧なところはメンバー同士で確認し、どうにかこうにか完成させました。前期からほとんど進歩していない。来季には新入生が飛翔に入ってきます。新入生に「飛翔って素晴らしい」と思ってもらえるように、きちんと仕事をこなしていきたいと思っています。

島田 優太郎

私は今回日程の都合で東京のOBさんのところへ取材できなかったのが、私自身の心残りです。今回の飛翔は、一年生が読んでくれて総科のことを少しわかってもらえたら嬉しいです。総科にはアクティブな人が多いよ！私自身もまだまだ周りの人たちを見習っていききたいと思っています。

藤尾 春菜

今回は、社会探求領域の研究室紹介と、総科で輝いている人のインタビュー特集を担当させて頂きました。前期とは違い、文章の推敲や編集を25のみで行うということに、責任の重さも感じ不安もありました。しかし互いに協力してなんとか形にすることができてよかったです。ほぼ、編集は小林さん・上江洲さんにまかせてしまい、自分は迷惑をかけてしまったのが反省点です。忙しい中でも上手く自己管理をし、仕事をこなすのが必要だと身にしみて感じた次第です。そのことも含め、学ぶことが多い飛翔委員でした。1年間ありがとうございました。

星原 有里

飛翔の制作に携わるのは今回で二度目でしたが、インタビューは相変わらず難しく感じました。質問をただ投げかけるだけじゃいけないし、うんうんとただ頷けばいいというものでもありません。社会人ときちんと対話をする機会は意外と少ないため、飛翔のインタビューはとてもいい経験になりました。目上の人へのメールにも、少し慣れた気がします。受け身でいるとこんな経験はできなかったなと考えると、春入学してすぐの頃思い立って飛翔編集委員に参加を決めてよかったと思います。

丸本 千枝

今回の飛翔は、第84号で2年生の先輩方が引退となったため、私たち25のみで取材および編集を行いました。前回まで先輩方に校閲・編集をお任せしていただけに、全体を構成するのは大変な作業でしたが、25みんなで「どんな内容が面白いか」「どんなレイアウトにしようか」を話し合っ、25らしさの見られる飛翔になったのではないかと思います。4月に入学してくる26が手に取って読んでくれることを思うと、今から楽しみです。25も26も、ぜひみなさん読んでください！

三山 まりに



●教職員

今回の飛翔は、25年度生だけで作成されたということですが、総合科学部の多様性や、所属する教員学生双方の幅広い活躍ぶりが十分に伝わる内容になったと思います。新たなスタッフがまた大勢加わって、さらに多彩で魅力的な広報誌となっていくことを期待しています。

城戸 光世



Faculty of Integrated Arts and Sciences



総合科学部報『飛翔』

2014年3月発行 通巻85号

広島大学

総合科学研究科・総合科学部

広報出版委員会

〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1

TEL 082-424-6319

